



やるきほんききさき 木佐木

神奈川県議会

日本共産党

2023.10.4

木佐木たまたさ news

発行：党横浜北東地区委員会

横浜市鶴見区潮田 3-147-6

TEL：045-511-1021

Profile

- ▶1984年山口市出身
- ▶鶴見区馬場在住
- ▶神奈川大学法学部卒
- ▶よこはま健康友の会会長
- ▶横浜東民商顧問

安心して不妊治療に臨める県の支援を！



Youtube で質問を見ることができます。「共産党どうでしょう」で検索！

治療を受ける当事者として

9月25日、県議会の本会議では選挙戦で特に力を入れて訴えた「不妊治療に対する県の支援について」最初に取り上げました。不妊治療が保険適用となって以来、神奈川県は不妊治療に対して何らの経済的支援も行っていません。費用負担や回数や年齢による制限など当事者の苦しさを訴えました。質問と答弁の要旨をお伝えします。

不妊治療に対する県の支援について

【木佐木】先進医療への独自の助成を行う自治体が増えています。神奈川県でも、治療の可能性を広げるための先進医療や保険適用外となった夫婦へ経済的支援を行うべきと考えますが、知事の意気込みを伺います。

また、不妊治療のための休暇制度を企業に対し普及啓発するほか、フリーランスや自営業の方も安心して不妊治療に臨める支援が必要だと思いますが、知事の所見を伺います。

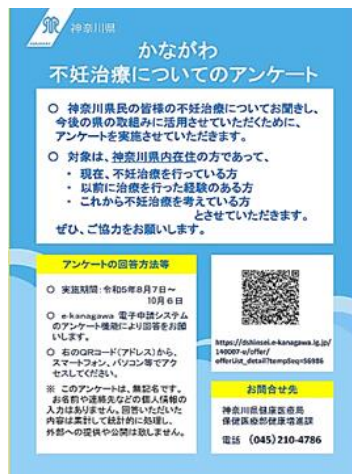
【黒岩知事】不妊治療に対する県の支援についてお尋ねがありました。まず、経済的支援についてです。不妊治療については、さらなる経済的支援を求める声も聞いています。県では、治療費や経済的、精神的な負担感などをお聞きする調査を行っています。調査結果を分析しながら、どのような支援が有効か、検討していきます。

安心して不妊治療に臨める支援について県では、職場環境整備について、経済団体に対し傘下の企業への働きかけを要請したほか、フォーラムなどで普及啓発しています。加えて、今後フリーランスや自営業の方のためには、その取引先企業などに不妊治療への理解を深めていただくよう、県ホームページ等で周知していきます。

【木佐木：再質問】国の制度に当事者の声を反映させるために、今行っている県のアンケート結果、こうしたものに基づいた制度の改善を求めるべきと考えますが、知事の见解を伺います。

【黒岩知事：再答弁】不妊治療の保険適用の範囲に関する国への要望

につきましては、治療を受けている方などに対し、現在行っている調査の結果、これを踏まえながら検討してまいります。



←県が行ったアンケートの呼びかけ